

市民活動・イベント広場



由木の民俗と自然を知る・見る・学ぶ (第2回生涯学習の集い南大沢)

由木の民俗と自然に関する講演会①由木の歴史と民俗(講師:佐藤広氏)②八王子の桜とホシザクラ(講師:内野秀重氏)、南大沢地区活動団体の学習成果の展示発表や体験講座「寄せ植え教室」(講師:富田英明氏)など。
 日時:3月15日(土)10:00~16:00
 会場:生涯学習センター南大沢分館
 定員:講演会は先着50名、体験講座「寄せ植え教室」は20名×2回、展示等は定員なし。
 参加費:体験講座のみ材料費1,000円、その他は無料
 申込:体験講座 042-678-1945 長瀬
 その他 042-625-2937 東
 主催:八王子生涯学習コーディネーター会

~手作りをホキで仕事にしたい人のための~ 手作り作家起業セミナー(入門編)

単なる趣味に終わらせず、販売・講師などのプロとして起業するための基本を学びます。
 日時:3月16日(日)、23日(日)14:00~16:00
 会場:「CUORE・堀之内」八王子市別所2-1-4F
 定員:10名
 対象者:自分の手作りのスキルをビジネスにしたい人
 参加費:2,000円(全2回)
 申込:042-670-2237 吉田
 主催:NPO法人エンツリー

第16回東日本大震災と地雷廃絶のための チャリティコンサート

バイオリン小森奈緒美、ピアノ岡恵美子によるバッハ、モーツァルト、サラサーテなどの名曲を演奏します。
 日時:3月15日(土)14:00~16:00(開場:13:30)
 会場:八王子市北野市民センター 8階ホール
 (京王線北野駅北口)
 定員:280名
 参加費:1,000円
 (東日本大震災への支援・地雷廃絶運動に全額寄付)
 申込:TEL・FAX 042-636-3317 久保田
 メール sskubota21@y4.dion.ne.jp
 主催:東京八王子ワイズメンズクラブ

八王子市民活動協議会からのお知らせ

第13回はちおうじ「お父さんお帰りなさいパーティー」 ~一緒に楽しみさがしましょう!~

地域社会で、生きがいのあるシニアライフを見つけるお手伝いをするイベントです。(女性も大歓迎)会場には40以上の市民活動団体などが出展。一人で参加してもツアーガイドの案内で“ぼつん”と一人にさせません。お配りする資料は、市内約140余団体の最新情報を掲載。東日本大震災から3年目、八王子からの支援活動を紹介・展示します。



731部隊展と講演会

731部隊は、人体実験など「人道に対する罪」として断罪されるべき戦争犯罪を犯しました。過ちを繰り返さないためにパネルや模型を公開し、戦争と平和、戦後の医療・科学の問題について、みんなで考えましょう。
 展示会:3/24(月)~30(日)10:00~18:30
 講演会:3/16(日)15:00~17:00 講演者・西里扶子氏
 3/25(火)18:00~20:00 講演者・村松高夫氏
 会場:「アマダステーション」八王子市東町3-4
 (JR八王子駅・京王八王子駅徒歩5分)
 定員:50名(申込み不要) 参加費:無料
 問合せ:080-4904-5962
 主催:2014・八王子「731部隊」展実行委員会

男声合唱団 コールプレアデスと歌おう

小泉八雲作詞、小内将人作曲「漂流」を始め、ドイツ歌曲、女性コーラスグループとの混声曲をお楽しみ下さい。第2部は「皆で歌おう」
 日時:4月6日(日)14:20~16:00(14:00開場)
 会場:「聖フランセス教会」八王子市散田町2丁目
 (東京都水道局散田給水所北側)
 定員:約100名
 参加費:無料(茶菓の用意あり)
 申込:050-3695-9411 池田
 090-2224-8934 武田
 主催:男声合唱団 コールプレアデス

「高尾山の花名さがし」出版5周年記念 花の高尾山へようこそ 写真展

出版を応援していただいた12名による作品展。高尾山に咲く花々の写真を約40点展示、色とりどりの季節の花の写真を楽しめます。
 日時:4月9日(水)~13日(日)
 10:00~17:00(最終日は16:00終了)
 会場:八王子市中央図書館(地下展示室)
 定員:なし
 参加費:無料
 問合せ:090-6042-6263 遠藤
 主催:高尾山の花名さがし隊

劇団かかし座公演

ハンド・シャドウズ・アニメーレ

生命を吹き込まれた影たちが繰り広げる「手」が主役の究極のパフォーマンス!
 日時:4月20日(日)13:30~14:30(開場13:00)
 会場:いちようホール 大ホール
 参加費:全席指定
 3歳~中学生 2,000円
 高校生以上 3,000円
 申込:八王子子ども劇場
 042-645-1739
 主催:八王子ふれあいこどもまつり実行委員会



59号

2014年(平成26年)3月1日発行

SUPPORT 802

八王子市 市民活動支援センター 広報紙

発行日:奇数月1日
 発行:八王子市市民活動支援センター
 〒192-0083 八王子市旭町12番1号
 ファルマ802ビル5階
 電話:042-646-1577 FAX:042-646-1587
 メール:npo802@shiencenter-hachioji.org
 URL:http://www.shiencenter-hachioji.org/
 指定管理者:NPO法人八王子市民活動協議会



あなたの善意を活かす

100% 災害ボランティアの心得

東日本大震災から3年。もし、再びどこかで大震災が起きた時、私たち八王子市民はどんな支援が出来るのでしょうか?3.11の経験を無駄にしないため、もう一度、正しい支援の仕方を考えたいと思います。八王子市社会福祉協議会、ボランティアセンターの西田佳子さんにお話を伺いました。

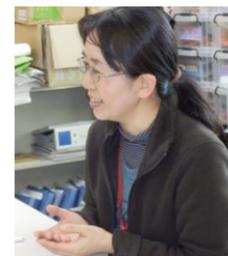
最初の一步は冷静に

東日本大震災の時、「東北にボランティアをしに行きたい、どうすればいいですか?」という問い合わせがたくさんありました。西田さんを始め、ボランティアセンターの皆さんが最初に伝えた事は、「まずは情報収集をすること」。ボランティアに対する想いが強い人ほど、被災地にすぐ駆けつけたいと思う人が多いそうです。しかし、被災直後は人命救助が最優先されます。そのため車等の乗り入れが救急車両の妨げとなったり、被災地のボランティアセンターの受け入れ体制が整っていなければ、迷惑をかけてしまいます。一度、冷静になって、現地のホームページや報道などから情報収集をし、準備を整えることが大切です。

現地の状況を理解する

災害が起きた場合、ボランティアの力が効率よく被災された方々の支援に結びつくよう、被災地の社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアの受け入れ体制を整えます。例えば八王子市の災害ボランティアセンターでは、『ニーズ班』『総務班』『受付係』『送り出し、資材班』『マッチング班』と5つの役割に分け、受け入れ態勢を整えます。このように体制が整って初めて、ボランティア活動も効率よく機能します。

す。」とのこと。被害を目の当たりにするたびに、なぜすぐにもボランティアを受け入れないのだろうか?と気持ちがはやるものですが、こうした現場の状況を把握し行動することが、的確な支援につながるようです。



八王子市
ボランティアセンター
西田佳子さん

日頃の地域との関わりがボランティア活動に生きる

現在、首都直下型、立川断層地震などの発生が心配される中、もし大地震が発生した場合、八王子市でも大きな被害が出るのが予想されます。このような時に駆けつけてくれるボランティアの方々に、効率よく、スムーズに活動していただくためには、社会福祉協議会と市民が協力して災害ボランティアセンターを設置しなければいけないとのこと。つながりが強い地域は、災害にも強いと言われています。災害が起こってからいきなりボランティアに目を向けるのではなく、日頃から地域の活動に関わり、地域のつながりを大切にしたいと、西田さんは言います。

災害ボランティアに少しでも興味のある方は、八王子市ボランティアセンターを訪ねてください。

問合せ先:ボランティアセンター 042-648-5776



八王子市では、東日本大震災や自然災害で被害を受けた被災地で、昨年7月から今年の3月までにボランティア活動を行ったグループに助成を行っています。被災地で活動しているボランティアを支援し、八王子の災害ボランティアリーダーの養成を図ることが目的です。助成金を利用された方は、市内の総合防災訓練やボランティア養成講座などに参加し、緊急時におけるボランティアリーダーとしてのスキルを学びます。被災地において、また八王子が被災した場合において、こうしたボランティアリーダーの方々の活躍が期待されています。

問合せ先:八王子市社会福祉協議会 042-620-7338

市民活動団体と八王子市の災害の取り組み

母の強い思いをサポートする、愛情溢れるボランティアグループ

福島子ども支援・八王子（ふくはち）

発足のきっかけは「子どもの未来を守りたい」という優しい気持ち。いまだ放射能汚染の不安が続く福島県の子供たちに、思い切り外遊びしてもらいたいと活動を続けています。



水遊びやコンサートを楽しむ子どもたち

福島子ども支援・八王子（通称：ふくはち）は、地域の様々な人が福島県内の親子と交流するボランティアグループです。東日本大震災後の発足から、年2回のキャンプを八王子付近で開催し、活動は今年で3年目を迎えます。

代表の前田佳子さんは「福島のお母さんたちは、情報に振り回されたり、家族や地域の中で見解の違いから、正直な意見が言えなかったりする葛藤や、幼い子どもを安心して遊ばせられない環境の中で、ダメダメと言わなければならないストレスや、遊びを制限した

ばかりに、子どもたちが好奇心を持つことから離れていくのでは・・・というさまざまな不安を抱えています。キャンプに参加することで、安心して子どもに外遊びをさせるのはもちろん、そういった気持ちを福島のお母さん同士で話したり、地域の情報交換をすることで、少しでも心が軽くなれば良いなと考えています。」と言います。

今後は、他の団体とも連携し、訪れた親子の滞在期間を今までより長くしてみたいとの考えもあるようです。ただ、やはり毎回の人員や資金調達、場所の確保には苦労が絶えない様子。

それでも「『福島の親子を笑顔にしたい』という、メンバーの強い思いがある限り、この活動を続けていきます。」と前田さんは話してくれました。



賑やかな外での食事。

寄付のお願い

「ふくはち」の活動は、多くの方からの寄付やボランティアで成り立っています。皆様のご支援お待ちしております。
振込先：ゆうちょ銀行 名義：福島子ども支援・八王子 記号：10050 番号：32610501
(他金融銀行から) 店名：〇〇八(読み ゼロゼロハチ) 店番：008 預金種目：普通 口座番号：3261050
連絡先：メール huku8-owner@yahoo.co.jp 090-1045-9044(前田)

八王子市が、行政として取り組む被災地支援

被災地支援はまず情報収集から、現地の状況を把握し、ニーズに応えることが大切。八王子市生活安全部防災課の青柳さん、福祉部福祉政策課の田倉さんからお話を聞きました。



災害が起きた場合、被災地では職員、行政自体も被災している場合が多いにもかかわらず、非常事態への対応、例えば避難所の開設や医療救護所の設置などで行政業務は混乱しています。また被災した人たちが地域を支援するために、社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターの設置が急務となります。このように被災地では、現地の職員だけでは、とても人数がたりません。

こうした状況に対応すべく、どこかで災害が発生した場合、各市町村は連携を取りますが、現場の状況を把握せずに現場に行くことは、逆に混乱を招きます。

そのため八王子市では、被災自治体や東京都などからできる限り情報を集め、支援内容を決定していきます。八王子市でも、青柳さんや田倉さんを始め、市の職員の方々は、そうした手薄となった行政業務のサポートや、現地の災害ボランティアセンターの運営など、さまざまな支援の目的で被災地に行かれたそうです。

市民ボランティア同様、行政間の支援においても、現場の状況を把握し、ニーズに対応することが大切なことがよくわかりました。

助成金情報

詳しくは、八王子市市民活動支援センターにお問合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

名称	主催	助成対象	助成内容	締切
平成26年度『街なか再生 助成金』	公益財団法人 区画整理促進機構	まちづくり	100万円	3月31日(月) 消印有効
平成26年度公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成	一般社団法人 自然公園財団	環境	50万円以内	4月4日(金)
地域福祉を支援するわかば基金	社会福祉法人NHK 厚生文化事業団	福祉活動	100万円	3月31日(月) 必着
全労済 地域貢献助成事業	全国労働者共済生活協同組合連合会	環境 子ども	30万円	3月26日(水)～ 4月9日(水) 必着
LUSH チャリティバンク	株式会社 ラッシュジャパン	市民活動	10万円～ 200万円	毎月月末締め 当日消印有効

アクティブ市民塾

3月 チラシはお得情報の宝庫 消費税アップを乗り切るチラシ活用術

FP ネットはちおうじは、ファイナンシャルプランニングの技能を生かし、生活に密着したお金にまつわるさまざまな情報を発信している団体です。4月から消費税が上がります。今回は、お買い得情報満載なチラシの法則を知って、膨大な情報の中から必要なものを見つけ出す技を学びます。**身近なチラシを活用してひと工夫、買い物上級者**を目指します。

- ◆日 時：3月15日(土) 13:00～15:00
- ◆会 場：八王子市市民活動支援センター
- ◆講 師：FP ネットはちおうじ 代表 太矢香苗さん
- ◆参加費：無料
- ◆定 員：20名(申込先着順)
- ◆主 催：八王子市市民活動支援センター



お申込み方法 八王子市市民活動支援センターまで、お申込みください。
★電話/042-646-1577 ★FAX/042-646-1587
★メール/npo802@shiencenter-hachioji.org



サポートスタッフの紹介



情報部
田中英俊さん

1954年生まれ、長崎県出身。はちおうじ志民塾を経て地域での活動を始めました。

得意分野はICTを活用した社会変革で、在職中は、学校SNS、遠隔予防医療や遠隔多言語ガイドなどの社会実証を行っていました。現在、三鷹でテレビ電話を使った孤立防止ネットワークの事業を展開しています。ただICTは道具でしかないので、導入シナリオやコンテンツを重視するビジネス企画で、地域の成長に貢献できればと考えています。



啓発部
貝嶋康文さん

縁あって啓発部会の月次検討会に参加して「アクティブ市民塾」などの啓発部のイベントの企画の支援をしております。私自身は退職するまでは、自宅と最寄駅までの通勤路以外は、地域のことはほとんど知りませんでした。広報を見てある研修会を受講したことをキッカケに、市民活動に参加し始めて地域や八王子のことをいろいろと学び、活動している多くの仲間を得ました。沢山の方に市民活動の楽しさを味わっていただくことを願って行動しています。



啓発部
吉田恭子さん

八王子市で開催された「女性のキャリアアップコーディネーター養成講座」受講をきっかけに、仲間とともに、「自分たちと同じように学びを活動に結び付けようとしている女性たちを支援するため」グループエンツリーを立ち上げました。2008年NPO法人認証とともに理事長就任。女性のさまざまな社会参加支援、子育て支援、地域活性化を中心とした活動を展開中です。2級FP技能士、TCJ認定ファシリテーター、メンタルケアスペシャリスト、終活カウンセラー。